令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

＜採択事例＞

CASE 13

生産性向上補助金でショベルカーを導入し、集材の効率が向上しました！

株式会社西湘フォレスト

（業種:林業）

神奈川県小田原市根府川 658

代表取締役：佐藤　克寿さん

【社長より一言】

平成 16 年から神奈川県小田原市で林業を営んでおります。造林（森林整備）から事業を始め、6 年目から中古の重機を購入し、素材生産（丸太の搬出）を始めました。

◆導入した設備

◇ショベルカー（付属：ラジコン操作可能な２胴ウィンチ付きグラップル※）

※グラップルとは、ショベルカーに取り付ける木材を掴む機器

◆生産性向上のねらい

設備導入により、伐倒木を集めたり、枝を落とし、一定の大きさに揃える作業に必要な作業員の人数が減少したほか、余った人員を丸太の運搬にまわせるようになったことで、工期の短縮につながりました。工期が短縮した分、別の受注依頼に対応することができ、売上高が増加しました。

●設備導入前の状況

斜面に伐採した木材を林道まで持ってきて、運び出す作業は、林道に設置したショベルカーにワイヤーを巻き付け油圧ウィンチで引き上げることから３名の人員が必要でした。ショベルカー操作に１名、ワイヤーを木に結ぶ人１名、運び終わったワイヤーを次の木に結ぶめ下まで運ぶ人の３名が必要でした。
た。
この作業は、毎回斜面を往復するため、かなりの労働負荷がかかっていました。

○設備導入後の状況

ウィンチ付きグラップルショベルカーの導入により、林道に設置したショベルカーと斜面下の木材にワイヤーを固定することで、伐採した木をワイヤーに結ぶだけで、自動で上まで引き上げが可能となります。また、グラップルがついていることから、引き上げた木材たトラックに積み込む作業も可能となることから、３人で実施していた作業が２人で実施することが可能となり、かなりの労力が軽減できます。

◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

締め切りまであまり時間もない中で、一人で申請書を書くことは困難に感じて抵抗がありましたが、金融機関や重機の販売店等に支援していただき申請書を書くことができました。

◆補助金を申請してよかった事

木材の搬出作業には、かなりの労働負荷がかかっていましたが、今回の設備導入により作業効率が上がりました。現状２つの現場を８人で回していますが、７人で回せるようになります。
空いた１名で、枝払いや玉切り、土場への運搬などに従事することが可能となり、売上増加が期待できます。

◆最後にひとこと！

湯河原・箱根に山林を所有、ヒノキ・広葉樹（クヌギ・コナラ）を毎年植林しており、他にサクラ・アカマツほかも植林予定です。10 年後を目標に、薪、シイタケ栽培の原木、炭の原木生産量『神奈川県１位』を目指しています。植林したい樹木があればぜひご相談ください。
平成 29 年度、当社は神奈川県の丸太の搬出量トップになりました。

◇コナラを植栽

株式会社西湘フォレスト